

ダライ・ラマ法王 14 世 11 月 15 日～11 月 23 日に来日決定

仏教徒会議神奈川大会にて公演のほか、宗教フォーラムなどに出席

ダライ・ラマ法王 14 世が、2007 年 11 月 15 日（木）から 2007 年 11 月 23 日（金）の期間に来日します。

今回の来日の目的は、全日本仏教会（AJBA）が財団創立五十周年記念事業の一環として開催する第四十回全日本仏教徒会議神奈川大会（KBF）への出席です。招聘元は全日本仏教会・神奈川県仏教会。

全日本仏教徒会議神奈川大会は、2007 年 11 月 19 日（月）・20 日（火）の両日にわたり開催され、ダライ・ラマ法王は 20 日（火）午前 10 時 20 分より約 2 時間、「信ずる心と平和」というタイトルで講演おこないます。会場は、パシフィコ横浜。

ダライ・ラマ法王は、この大会の他にも、11 月 18 日（日）に伊勢の皇學館大学で開催される「伊勢国際宗教フォーラム」において講演するほか、都内の高等学校などでも講演を予定しています。

ダライ・ラマ法王は、過去数回にわたり来日しております。近年では、2003 年、2005 年、2006 年に来日し、各地で仏教講演ならびに一般講演を行っています。

また、ダライ・ラマ法王は日本以外にも世界各国を歴訪しています。今年 6 月にオーストラリアのジョン・ハワード首相、9 月にドイツのメルケル首相、10 月にアメリカのブッシュ大統領、同じく 10 月にカナダのハーパー首相と対談をしています。

<ダライ・ラマ法王 14 世>

1935 年チベット東北部アムド生まれ。2 歳で先代ダライ・ラマ法王 13 世の転生であると認定され、ダライ・ラマ法王 14 世に即位。1949 年、中国のチベット侵略に伴い 15 歳で政治・宗教の最高指導者となる。1959 年インドへ亡命し、北インドのダラムサラにチベット亡命政府を再建。ダライ・ラマ法王は現在に至るまで、6 回にわたり使節団を中国に派遣し、チベット問題解決に向けて中国政府と対話を重ねている。しかし、問題は進展をみせていない。

ダライ・ラマ法王は、1960 年代から、世界各地で慈悲と非暴力の教えを説き続けている。1989 年、非暴力によるチベット問題への取り組みや平和への貢献が讃えられノーベル平和賞を受賞した。今年 2007 年 10 月 17 日には米国議会より議会名誉黄金勲章を授与され、授与式にはブッシュ大統領、米国両院議員が参列した。この他にも、様々な国際平和賞など、各国で 70 以上の賞を授与されている。

■全日本仏教徒会議・神奈川大会に関するお問合せ先

神奈川仏大会実行委員会（西有寺内） TEL： 045-661-0166

※チケットは完売しております。

■リリースに関するお問い合わせ先

ダライ・ラマ法王日本代表部事務所（チベットハウス）

代表 ラクパ・ツォコ

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-11-30 第五葉山ビル5階

TEL:03-3353-4094 FAX:03-3225-8013 URL:<http://www.tibethouse.jp/>
